

浜松市総合計画 基本計画

浜松市未来ビジョン 第 1 次推進プラン

(案)

基本計画目次案

基本計画【浜松市未来ビジョン第1次推進プラン】

1	未来ビジョン（基本構想）を受けて	1
2	都市経営の考え方	2
①	市民協働によるまちづくり	2
②	持続可能なまちづくり	3
③	創造都市の推進	4
④	変化を恐れない自立したまちづくり	5
⑤	広域連携によるまちづくり	6
3	分野別計画	7
①	産業経済	7
②	子育て・教育	9
③	安全・安心・快適	11
④	環境・エネルギー	14
⑤	健康・福祉	16
⑥	文化・生涯学習	18
⑦	地方自治・都市経営	20

1 未来ビジョン（基本構想）を受けて

未来ビジョンでは、一世代（=30年）先の未来の理想の姿として、「都市の将来像」と「1ダースの未来」を定めました。この未来ビジョンを受けて、第1次推進プラン（基本計画）では、バックキャスト方式を取り入れています。長期的な展望に立ち、30年後の未来の理想の姿を多くの市民と共有し、その実現に向けて、「今、行政が何を行うべきか」を考え、10年間の総合的な政策を定めました。

30年後には、人口減少と少子高齢化が更に進行し、高齢世代が約4割を占める最大の階層になります。こうした超高齢社会の中では、労働力の不足や社会保障費の増大など多くの課題が予想できます。超高齢社会を明るく豊かにすることは、簡単なことではありません。しかしながら、課題があるということは、裏を返せば、ニーズがあるということであり、ニーズが分かれば、進むべき道筋が分かります。発想を変えれば、新たな行政サービスを提供するチャンスとして捉えることもできるのです。

そこで、行政に求められるのは、「未来をつくり出すチカラ」。

将来にわたって、市民が幸せに暮らし、豊かさを実感できるように、信念のある挑戦をスタートさせます。

第1次推進プランの計画期間は、平成27年度から平成36年度までの10年間とします。

2 都市経営の考え方

都市経営を進めるに当たり、基本となる考え方として、以下の5項目を定めます。

①市民協働によるまちづくり

信頼で結ばれる助け合いの仕組み、それが豊かな未来をつくるための基本です。市民協働によるまちづくりでは、市民団体などが自然環境の保全や子どもの健全育成などの様々な分野で活動しています。市民の皆さんの回りにも市民団体で活躍している人がきっといるはずです。

一方で、個人の価値観や市民ニーズの多様化、少子・高齢化による社会構造の変質は、これからの私たちの生活環境に、大きな変化を与えることが予測されます。

このような中で、すべての人々が住みよいまちを実現するには、市民・市民活動団体・事業者がまちづくりの主役として、行政を含めたそれぞれの役割を果たすことが期待されています。各主体が互いの自主性・主体性を尊重しながら、持てる力を最大限に発揮できたら、思い描いた未来にとっても近づくことができます。そのためには、相乗効果を大きくするような連携を積極的に実践していかなければなりません。

この連携による結びつきは、ICTを有効に活用することで、強くできる可能性があります。行政情報を提供するオープンデータ化や各主体間の接続性を高めて、相互に参加・参画できる環境づくりを目指します。それぞれの主体の活動が連携して重なりあうことで、スケールの大きなことを動かしていくことができるはずです。

さらに、市民参画では、各主体が活発に意見交換し、時には笑いながら信頼関係を築いて、生き生きと活動できる環境を整えます。政策の形成・実行・評価・改善に多くの市民の自主的な参画を促して、市民の関心や行動力を高め、地域力を向上させます。柔軟な発想のもと、未来へのひとづくりと環境づくりを進めて、市民協働による市民主体のまちづくりを進めます。

②持続可能なまちづくり

市域を見渡せば、山、海、川、湖などの豊かな自然環境に恵まれ、沿岸部や都市部、中山間部の多様性を有する「国土縮図型」の政令指定都市を実感することができます。

将来を見据えた持続可能なまちづくりでは、市全体を住居・交通・産業などの視点で、コンパクト化・最適化する考え方が重要になります。人が集まることで、店舗や病院などの民間の活力が増して、より便利で快適な「まち」へと移り変わっていく、好循環を生み出すことが期待できます。

目指していくのは、拠点ネットワーク型のコンパクトシティです。市民が複数の拠点地域に住むことで、都市機能を集約して、公共交通の連携を進めます。こうした取り組みにより、自動車に頼ることなく、徒歩と公共交通で生活できるまちづくりを営むことができるのです。さらに、住むところと生産するところにメリハリを付けて、最適化されたまちを市民と共有します。

一方で、豊かな自然環境は、エネルギー源という、新たな恵みを与えてくれています。例えば、全国トップクラスの日照時間を誇る太陽光や多くの一級・普通河川、市域の約70%を占める森林などがあります。豊富な自然に配慮しつつ、環境負荷の少ない循環型社会を構築し、市民生活や産業活動を支えるエネルギーを持続的・安定的に確保していくことが重要です。

このため、太陽光や風力、バイオマスなど、自然環境を活かした再生可能エネルギーの利用促進やリサイクルの推進などに取り組みます。市内にある住宅や工場、公共施設などすべての施設が取り組めば、とても大きな効果が期待できるはずで、自ら生み出し、賢く使うエネルギーとして、自給率を高め、環境にも配慮した持続可能なまちづくりを進めます。

③創造都市の推進

先人たちが築き上げてきた「ものづくり」の伝統。現在まで脈々と引き継がれてきた理由は、失敗を恐れず、積極果敢に取り組む「チャレンジスピリッツ（やらまいか精神）」があったからこそ。ものづくりに懸けるひたむきな情熱は、創造性のあるオンリーワンの技術を生み、自動車やオートバイ、楽器、光技術など、世界に通じる多くの産業を発展させてきました。ものづくり産業の集積により、県内最大の人口を有する政令指定都市として、創造性のある自立的な発展を遂げているのです。

特に、世界共通の言語ともいえる音楽は、創造性の一例です。ものづくりの「楽器のまち」から始まり、今では「音楽のまち（音楽の都・浜松）」へと変貌を遂げて、国際的なコンクールや音楽を通じた国内外の交流などが行われています。

創造性といえば、アートや文化などをイメージすることが一般的です。しかしながら、創造性はそれだけにとどまりません。料理やショッピング、スポーツなどの日常生活のできごとを、クリエイティブに変えていくことも必要なのです。

創造都市を推進するために、これまで培ってきたチャレンジスピリッツを活かして、地域の文化や資源を生かした創造的な活動を支援します。そして、新しい価値や文化、ベンチャー企業や新たなイノベーションなどの産業の創出につなげて、市民の暮らしの質や豊かさを高めます。

そのためのひとつづくりでは、創造的な人材が育つ環境を整えて、アーティストやクリエイター、デザイナーなどを育成します。この地域に暮らして、創造都市のまちづくりを担っていくのは、日本人と国ごとに文化的背景を持っている外国人の市民です。すべての市民が互いに創造性を刺激し合うことで、常に新しい試みへのチャレンジが可能となり、これまでにはない価値や見たことのない感動が生みだされていきます。

④変化を恐れない自立したまちづくり

「想定外を想定すること」が今、行政に求められています。世界規模の不況や甚大な被害をもたらした東日本大震災や大津波など、予期せぬ変化に見舞われたとき、突発的な対応を余儀なくされます。予測される南海トラフ巨大地震が、30年以内に起こる確立は約70%。災害に強いまちづくりを優先的に取り組んでいかなければなりません。不況や災害など、急激な変化を恐れるのではなく、可能性を考慮して想定すれば、政策に活かしていくことができるはずです。

変化へ迅速に対応するために必要となるのが、それを支える仕組みづくり。総合計画の核となる戦略計画を毎年策定することで、政策・事業の体系的な進行の管理を行います。もちろん、進行を管理することだけが目的ではありません。政策や事業の必要性や実施主体のあり方について、見直しを行う政策・事業評価をすることによって、PDCA サイクルによる人材・財源などの経営資源の重点化や政策・事業のスクラップ・ビルドに取り組みます。

また、平成27年度から実施する新たな行政経営計画では、選択と集中による経営資源の有効活用やスピード感のある市民サービスの提供などを基本方針に決めました。その中で、公共施設の統廃合などの効率的・効果的な施設再編を行い、更なる民間活力の導入を図ります。さらに、行政が行う市民サービスなどの各事業の財源にきっちりとした裏付けがなければ、行政はサービスを提供できなくなってしまいます。そのため、財政規律をしっかりと堅持して、市債残高を抑制するなど、財政基盤の強化を行います。行政経営計画の実行性のある進行管理を行うことで、不断の行財政改革を進めます。

そのほか、自立した都市経営を一層進め、やる気と実力のある市町村の先行モデルとして地方分権改革をリードします。その具体的な取り組みの一つとして、道州制を視野に入れつつ、お金（税金）と仕事（行政サービス）の両面で県から完全に独立することで、県との二重行政を解消することができます。目指すのは、地域のことを地域が自ら決められる、地方分権の究極の姿“しずおか型特別自治市”の実現です。

想定外を想定し、変化に適応するチカラを身に付け、仕組みを効果的に運用することで、変化を恐れない自立したまちづくりを進めます。

⑤広域連携によるまちづくり

目指しているのは、三遠南信地域の一体的な発展です。この地域は、愛知県東三河地域、静岡県遠州地域、長野県南信州地域からなり、古くからの街道「塩の道」を通じて海と山が結ばれ、歴史的、文化的な交流が深い地域です。

地域の人口は約 230 万人。工業・農業でも大きなポテンシャル（潜在的な能力）を持っています。また、地域の骨格として整備が進められてきた三遠南信自動車道や新東名高速道路、三河港や御前崎港、富士山静岡空港など、陸も海も空も利用しやすい交通環境に恵まれているのです。

県境を越えた地域の結びつきを更に強めていこうと、地域住民や経済界、大学、行政が一緒になり、平成 6 年から「三遠南信サミット」を開催して、一体的な地域の振興発展に努めてきました。このような取り組みが実を結んで、平成 20 年 3 月には、地域共通の目標となる「三遠南信地域連携ビジョン」を策定して、地域の将来像「三遠南信 250 万流域都市圏の創造」を掲げました。この地域連携ビジョンを推進するため、平成 20 年 11 月、県境連携を推進組織となる「三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）」を設置。地域の連携をより一層強めるために、中部圏の中核となる地域基盤の形成、塩の道エコミュージアムの形成、中山間地域を活かす流域モデルの形成、広域連携による安全・安心な地域の形成などを通じて、取り組みを積極的に推進しています。

このような取り組みを進めるには、県や市といった行政の区域の枠にとらわれる必要はもはやありません。市民生活や経済活動の範囲、歴史的な一体性や行政課題の性質を踏まえて、地域の中心都市として積極的な広域連携を進めることで地域をリードします。

①産業経済

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿(30年後)

【実現を目指す1ダースの未来 : 01、02、10、12】

- ◆ 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。



10年後の姿(政策の柱)

- ◆ 新たな領域へ果敢に挑戦して世界に進出し、地域経済の発展に貢献している。
- ◆ 来訪者がおもてなしを実感している。
- ◆ 農林水産業と多様な分野が結びつき、付加価値の高い農林水産業が行われている。

10年後の姿の実現に向けて

産学官が連携した総合的な産業支援をオール浜松で進め、ものづくり産業の高度化と新産業や新たなビジネスモデルの創出を推進することで、地域企業がオンリーワン企業に成長するよう支援します。また、最先端技術の研究や開発を地域で行い、新たなイノベーションを海外に輸出する、という好循環により地域経済が潤うよう、地域企業の海外進出を促進します。成長産業が集積する都市、創業がしやすい都市として世界に認められ、多様な産業が発展します。

農林水産業では、ICTの活用やマーケティング手法の導入などにより、生産性の向上や、新たな流通システムを構築するとともに、健康や福祉などの新しい分野と結びつけ、多様な担い手が参画できる仕組みを整えます。農林水産資源の適切な保全と活用を図り、市民をはじめ世界中の人々に安全な浜松産品を安定的に供給します。

創造都市の玄関口にふさわしいまちなかの整備や、国内外に通用するブランドを確立するなど、来訪した多くの人がおもてなしを実感できるよう、浜松の魅力を高めます。

基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

世界の一步先を行く産業・サービスの創造

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

3 分野別計画(案)

(基本政策)

作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

政策体系

(政策の柱)

- ・新たな領域へ果敢に挑戦して世界に進出し、地域経済の発展に貢献している。
- ・来訪者がおもてなしを実感している。
- ・農林水産業と多様な分野が結びつき、付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策	政策
世界の一步先を行く産業・サービスの創造	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 新産業の創出と既存産業の高度化による活力ある地域経済の実現 ➢ 企業誘致の推進による産業集積の促進 ➢ 魅力ある都心づくりと商業振興 ➢ 観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化 ➢ だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備
作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 農業参入機会の創出による担い手の確保 ➢ ICT を活用した魅力あふれる農業への変革 ➢ 生産基盤の安定による農業振興 ➢ 産業と市民活動による担い手の確保 ➢ 適切な伐採と流通の活性化 ➢ 森林管理を通じた環境対応社会への貢献 ➢ 適切な資源管理による水産業の振興 ➢ 漁港などの基盤整備による水産業の振興 ➢ 地元水産物の消費の活性化 ➢ 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定
—	➢ 優良農地の確保と農業生産力の向上

②子育て・教育

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿(30年後)

【実現を目指す1ダースの未来：06、08、10、12】

- ◆ 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。



10年後の姿(政策の柱)

- ◆ 地域社会全体が相互に連携を取りながら、子どもたちの成長を第一に考えている。
- ◆ すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

10年後の姿の実現に向けて

将来を担う子どもたちは、浜松にとって大切な宝です。自分の未来を描き、夢と希望に向かって主体的に行動できるよう、地域社会全体が相互に連携しながら、意欲と才能を最大限に引き出す子育てと教育を推進します。

子育て世代が、安心して生み育てられるように、子育てに対する不安感や経済的負担を軽減するとともに、教育・保育施設の整備や育児中の就労、育児後の社会復帰支援により、社会全体で子育てを重視した働き方を推進します。また、事業所内保育や地域主体の育児サポートなどを促進することで、家庭と企業、地域が一体となって子どもたちの成長を見守り、愛情を注ぐ環境を整えます。

学校教育では、すべての子どもたちが生きる力を身につけられるよう、教職員の資質の向上や少人数指導、ICTを活用した分かりやすい授業の推進に取り組みます。また、不登校、外国人、障がいのある子どもへの支援体制を整えるとともに、互いの個性を認め合い、心の通い合う温かで優しい人間関係を築き、いじめをしない、許さない子どもを育てます。さらに、音楽を中心とした芸術や地域の伝統行事などに触れる機会を設け、創造性豊かな子どもたちの育成に取り組みます。

基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

3 分野別計画(案)

(基本政策)

市民協働による未来創造への人づくり

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

政策体系

(政策の柱)

- ・ 地域社会全体が相互に連携を取りながら、子どもたちの成長を第一に考えている。
- ・ すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

基本政策	政策
子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 妊娠・出産を応援するための環境づくり ➢ 子育てを応援するための環境づくり ➢ 子どもの成長を見守るための環境づくり ➢ 若者の自立を促す環境づくり
市民協働による未来創造への人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ➢ すこやかな心と体を育てる取組の推進 ➢ 社会に対応する力を育てる取組の推進 ➢ 園学校や教師の力を向上させる取組の推進 ➢ 家庭や地域の教育力を発揮させる取組の推進 ➢ 一人一人の可能性を引き出し、伸ばす取組の推進 ➢ 子どもの生活や学びを支える教育環境づくりの推進

③安全・安心・快適

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿(30年後)

【実現を目指す1ダースの未来 : 04、05、07、11、12】

- ◆ どこでも安全、いつまでも安心、持続可能な快適なまちになっている。



10年後の姿(政策の柱)

- ◆ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の生命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ◆ 居住エリアの集約化が進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

10年後の姿の実現に向けて

居住エリアを集約した拠点を設置し、拠点間を交通ネットワークで結び「拠点ネットワーク型都市構造」へ転換します。また、空き家・空き地の有効活用や土地利用の適正化、都市の緑化推進に努め、豊かな自然環境と共存し、都市活力を向上させる、快適なまちづくりを進めます。

防災対策に関しては、防潮堤・防災施設の整備、消防・救急体制の充実を図り、道路・橋・上下水道などの強靱化、建築物の耐震化などを進めるとともに、地域と連携した防災訓練を通して、地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

また、地域防犯の取り組みにより、犯罪を起こさせない、犯罪に巻き込まれない社会を目指すとともに、消費者教育を推進し、賢く無駄のない消費者市民社会の形成に努めます。さらに、交通安全教育の充実や安全な通学路の整備などを総合的に進め、交通事故のない社会を実現します。

自助・共助・公助の取り組みを通じ、「自分の生命と財産は自分で守る」意識を高め、安全・安心なまちづくりを進めます。

基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

みんなの力で災害から生き残る

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

(基本政策)

安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

3 分野別計画(案)

(基本政策)

市民が集い、安全安心で快適に生活できる活力ある都市づくり

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

(基本政策)

安全・安心で快適なまちづくり

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

(基本政策)

いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

(基本政策)

安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道事業

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

政策体系

(政策の柱)

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の生命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化が進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策	政策
みんなの力で災害から生き残る	<ul style="list-style-type: none"> ➢ みんなの力で災害から生き残る
安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域防犯の向上 ➢ 市民安全の確保 ➢ 消費者教育の推進 ➢ 戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等窓口事務の適切な執行 ➢ 斎場整備推進 ➢ 墓園・墓地の整備推進
市民が集い、安全安心で快適に生活できる活力ある都市づくり	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 集約都市づくりの推進 ➢ 開発と保全が調和する土地利用の推進 ➢ はままつ流の多様なくらしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して ➢ 安心、安全な市街地の形成 ➢ 都心の都市機能の強化 ➢ 安全・安心な居住環境への誘導 ➢ 市営住宅の既存ストックの活用 ➢ 緑地保全 ➢ 緑化推進

3 分野別計画(案)

	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 都市公園・緑地の整備 ➤ 動物園の再生
安全・安心で快適なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 安全・安心で効率的な道路・河川管理 ➤ 安全・安心で快適な道路・川づくり ➤ 交通安全対策 ➤ 防災体制の強化
いつでも、どこでも迅速的確に対応する消防・救急体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 消防施設の最適化、人材育成の充実 ➤ 消防団の防災体制の充実 ➤ 火災予防体制の充実、火災による被害の軽減 ➤ 通信・指令体制の充実強化 ➤ 救急体制の充実強化 ➤ 航空消防体制の充実強化 ➤ 消火・救助体制の充実強化
安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道事業	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 安全な水を、どなたにも確実に届け続ける浜松の水道 ➤ 未来へつなく快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道事業

④環境・エネルギー

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿(30年後)

【実現を目指す1ダースの未来：03、04、12】

- ◆ 豊かな自然を未来へつなぐため、環境への負荷を抑え、エネルギーを賢く使う生活を送っている。



10年後の姿(政策の柱)

- ◆ ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- ◆ 再生可能エネルギーが広く導入されるとともに、エネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

10年後の姿の実現に向けて

天竜川、浜名湖、遠州灘、南アルプスなど豊かな自然は、多様な動植物をはぐくんでいます。この豊かな自然の恵みを次の世代へつなげるために、自然環境と共生するまちづくりを推進するとともに、市民生活に環境への負荷を抑える活動を取り入れ、温暖化防止を促進します。

また、ごみ減量や資源化、ごみの適正処理など、行政・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を果たし、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を徹底することで、ごみ焼却や埋立施設の長期的な使用、効果的な活用を目指します。

全国トップクラスの日照時間を活かした太陽光発電や木材資源を有効に活用するバイオマス発電などの再生可能エネルギーの導入を一層拡大し、住宅や工場・事業所などの省エネルギー化に取り組むことで、エネルギー自給率を高めます。さらに、海外に輸出することも視野に入れ、成長産業として期待されるエネルギービジネスの創出にも取り組みます。

基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

環境と共生した持続可能な社会の実現

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

(基本政策)

再生可能エネルギー等の導入と省エネルギーの推進によるエネルギー自給率の向上

3 分野別計画(案)

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

政策体系

(政策の柱)

- ・ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- ・再生可能エネルギーが広く導入されるとともに、エネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策	政策
環境と共生した持続可能な社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 環境に配慮したくらしの定着と自然と共生するまちづくり ➢ 豊かで安全・健康で快適な環境づくり ➢ 環境に配慮した資源循環型社会の構築 ➢ 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理 ➢ 不法投棄撲滅
再生可能エネルギー等の導入と省エネルギーの推進によるエネルギー自給率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 再生可能エネルギー等の導入 ➢ 省エネルギーの推進 ➢ エネルギー関連ビジネスの創出

⑤健康・福祉

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿(30年後)

【実現を目指す1ダースの未来：07、09】

- ◆ 支え合いによって、だれもが住みたい場所でいつまでも安心して暮らすことができる。



10年後の姿(政策の柱)

- ◆ 地域による支え合いのしくみづくりが進んでいる。
- ◆ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

10年後の姿の実現に向けて

住民が互いに支え合う地域づくりにより、高齢の人、障がいのある人の活躍の場を広げ、我が国が直面する超高齢・人口減少社会の諸課題に対応します。

活躍の場を求めている高齢の人に対しては、就労支援を進めるとともに、ボランティアなどの社会貢献活動に参加しやすい仕組みを構築します。これによって、高齢になっても住み慣れた地域で、生きがいを感じながらいつまでも暮らすことができる地域社会を目指します。

心身に障がいのある人には、働き、喜びを感じる就労環境を提供します。また、相談支援事業所などで働く職員の質の向上やグループホームなどの計画的な整備によってサービスを充実しつつ、関連団体と連携し、障がいのある人に対する市民の理解を深め、地域の支え合いの基礎を固めます。

また、病気や介護の予防に重点を置き、心と体の健康を維持しながらいきいきと暮らし、快適で質の高い生活を支援します。介護などが必要な人に対しては、医療・介護機関の連携を一層強化し、在宅などの必要なサービスが円滑に提供できる体制を整備します。

基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

人々の「つながり」をつくる社会の実現

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

(基本政策)

人々の「心身の健康と生活」を守る

3 分野別計画(案)

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

政策体系

(政策の柱)

- ・ 地域による支え合いのしくみづくりが進んでいる。
- ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策	政策
人々の「つながり」をつくる 社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 超高齢社会への対応 ➢ すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進 ➢ 適正な生活保護扶助費の給付 ➢ 超高齢社会における介護保険事業の健全で安定した運営 ➢ 国民健康保険事業の健全で安定した運営 ➢ 障がいのある人のライフステージに応じた支援の推進
人々の「心身の健康と生活」 を守る	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 生涯にわたる健康づくり ➢ 安全・安心な医療の提供 ➢ 地域医療・地域包括ケアの推進 ➢ 精神保健福祉活動の推進 ➢ 保健予防と食の安全対策の推進 ➢ 地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成 ➢ 医療安全の推進 ➢ 保健予防対策の推進（感染症対策） ➢ 保健予防対策の推進（難病患者支援） ➢ 保健・環境に関する検査分析

⑥文化・生涯学習

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿(30年後)

【実現を目指す1ダースの未来：05、09、11、12】

- ◆ 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。



10年後の姿(政策の柱)

- ◆ 音楽による新たな文化や産業が創出されている。
- ◆ 文化・歴史・スポーツによる喜びや豊かさを市民が実感している。

10年後の姿の実現に向けて

浜松国際ピアノコンクールの開催や国際的な市民の音楽交流などを通じて、音楽の都として世界に認められる文化を創出します。芸術文化団体の創造的活動に対しては、芸術・文化に精通した専門家による活動支援を推進するなど、新たな創造の担い手を育成・支援する基盤を整え、世界で活躍するミュージシャンやクリエイターを増やします。

また、知性や感性を刺激するような魅力のある展覧会を通じて、創作活動への支援や情報発信に取り組みます。加えて、文化施設や生涯学習施設、スポーツ施設などでは、ICTを活用して、機能を充実するとともに、民間も含めた施設の複合化を進めるなど、利用者の利便性を向上させます。さらに、市民主体の企画による講座を増やして、だれもが知識を高める生涯学習の機会を創出します。

そして、地域の個性をはぐくんできた文化遺産の保全活用を進め、地域の歴史・文化の積み重ねが新たな文化創造の礎となるよう、次世代に継承します。

基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

感動のある生活、文化・歴史・スポーツによる豊かさの創造

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

3 分野別計画(案)

政策体系

(政策の柱)

- ・音楽による新たな文化や産業が創出されている。
- ・文化・歴史・スポーツによる喜びや豊かさを市民が実感している。

基本政策	政策
感動のある生活、文化・歴史・スポーツによる豊かさの創造	<ul style="list-style-type: none">➢ 新しい価値が生まれる文化創造都市の実現➢ 生涯スポーツを楽しむ機会の拡大➢ 生涯学習を享受できる機会の広がり➢ 地域の文化遺産の継承➢ 地域の文化遺産を保全・活用する博物館➢ 芸術・文化の拠点の創造と発信➢ 秋野不矩美術館の魅力の創出➢ 読む機会の拡大

⑦地方自治・都市経営

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿(30年後)

【実現を目指す1ダースの未来：01～12のすべて】

- ◆ 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。



10年後の姿(政策の柱)

- ◆ 協働に関わる多様な主体が連携し、活動しやすい環境が整っている。
- ◆ 世界が注目するシティプロモーションを展開している。

10年後の姿の実現に向けて

市民、市民活動団体、企業など、多様な主体が協働により結びつき、地域の特性を踏まえて、多様性に富んだ市民ニーズへ対応します。協働する市民などが持てる力を最大限に発揮できるよう、連携を強化し、政策形成過程、財政状況などの分かりやすい情報提供や市政情報のオープンデータ化に取り組みます。

あわせて、地域資源を活かしたシティプロモーション戦略により、浜松のブランドイメージを国内外に情報発信。ブランドを定着させるとともに、創造都市としての魅力を国内外で高め、世界から注目を集めます。

また、人財や財源など限られた経営資源を選択と集中により、効果的・効率的に配分するとともに、事業・施設のスクラップアンドビルドや規律ある財政運営を行うなど、不断の行財政改革を進めます。持続可能な都市経営に向けて、専門性の高い職員の育成を行い、柔軟に適應できる組織づくりを進めて、自立した基礎自治体として行政サービスの質と量の確保に努めます。

基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

市民の、市民による、市民のための都市経営

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

(基本政策)

誰もがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

3 分野別計画(案)

(基本政策)

人的・制度的運用の推進による都市経営の基盤づくり

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

(基本政策)

将来像を実現する財政運営、財産管理、財源確保の推進

- ◆ ○○○○
- ◆ ○○○○

政策体系

(政策の柱)

- ・協働に関わる多様な主体が連携し、活動しやすい環境が整っている。
- ・世界が注目するシティプロモーションを展開している。

基本政策	政策
市民の、市民による、市民のための都市経営	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 秘書・表彰業務の推進 ➢ 「浜松市未来ビジョン」の実現に向けた総合計画の推進 ➢ 基礎自治体としての自立 ➢ 創造都市の推進 ➢ 戦略拠点 ➢ 持続可能な都市経営の推進 ➢ 市民主体のまちづくりを支える広聴広報の好循環 ➢ 世界を含めた都市間競争を勝ち抜くシティプロモーションの展開 ➢ 世界とのつながりと多様性を生かした都市の活性化 ➢ 行政サービスが誰でもどこでもいつでも受けられる電子自治体の推進
誰もがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進 ➢ “まち”と“むら”をつないで実現する中山間地域の振興 ➢ 自由な選択の実行が保障されたユニバーサル社会の実現 ➢ 一人ひとりが自己実現できる男女共同参画の推進
人的・制度的運用の推進による都市経営の基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 適正な組織体制と定員管理 ➢ 職員の育成 ➢ 政策法務の推進 ➢ 職員の健康管理と職場環境の安全管理 ➢ 行政情報の提供・公開
将来像を実現する財政運営、財産管理、財源確保の推進	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 将来を見据えた持続可能な財政運営の維持 ➢ ファシリティマネジメントの実現 ➢ 安全・安心で利用しやすい公共建築物の提供 ➢ 工事・物品の適正な契約 ➢ 技術職員の技術力向上 ➢ 公平公正・効率的な課税と収納
—	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 会計管理運営業務の推進 ➢ 公正かつ適正な選挙の実施 ➢ 適正かつ公平中立な人事行政運営の推進 ➢ 行財政運営に対する監査・指導の推進